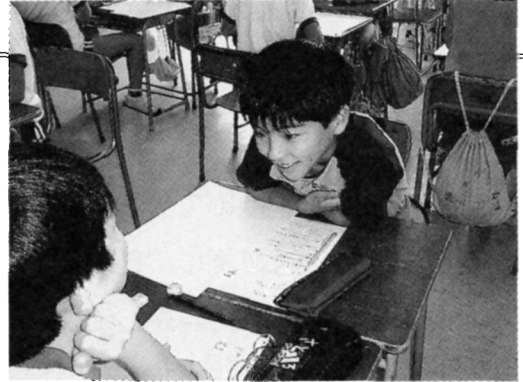


(1) 「けなす・けなされる」ロールプレイ

エのやりとりをするとどんな感じがするか、「けなす役」「けなされる役」になってロールプレイをします。やりとりが終わったら、二人で感じたことを話し合しましょう。合図があったら、役割を交替してロールプレイを行います。

- ◇ ロールプレイをする。
 - ・ 何だか仲が悪くなりそう。
 - ・ どちらも馬鹿にしているような感じで喧嘩しそう。
 - ・ 日常的にかなりやっていると思う。



(2) 「ほめる・ほめられる」ロールプレイ

ウのようなやりとりをするとどんな感じがするか、「ほめる役」「ほめられる役」になってロールプレイをします。やりとりは、台本（資料3）の①②③に「いいところ一覧」（資料4）の3つのよいところを入れて行います。やりとりが終わったら、二人で感じたことを話し合しましょう。合図があったら、役割を交替してロールプレイを行います。

- ◇ 台本を使ってロールプレイをする。

（例えば）

「T君は、係の仕事を責任を持ってやるよね。」

→ 「ほんと？」

「みんなそう言っているよ。それにだれにでも笑顔で接してやさしい性格だね。」

→ 「恥ずかしいけどうれしいな。」

「一番いいのは、弟や妹の面倒をよく見るし、お母さんの手伝いも進んでやることだと思うな。」

→ 「ぼくのよいところなのかな。ほめてくれてありがとう。S君だっていいところがいっぱいあるよね。」

* 補助者とのモデリングを通して台本の使い方を示すと、子供はロールプレイの仕方を理解しやすくなる。



（資料3）

ほめる役

ほめられる役

「①」

ほんと？

みんなそう言っているよ。それに、「②」

はずかしいけどうれしいなあ。

一番いいのは、「③」だと思うな。だって、「(理由)」。

ほめてくれてありがとう。〇〇さんにほめられてうれしかったよ。